

施策マネジメントシート

基本施策名	08	スポーツの振興	施策 統括課	生涯学習課	氏名	伊形 研一郎
政策名	3	文化・生涯学習・スポーツ	主な 関係課	環境政策課、健康づくり担当		

1 施策の目的と指標

対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市民

対象指標 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない

名称	単位
ア 人口	人
イ	
ウ	
エ	



施策の目的 市民一人ひとりがスポーツ・レクリエーションを楽しめるまちを目指す。
--

成果指標 (意図の達成度の指標) 数字は記入しない

名称(展開方向ごとに記載)	単位
1 ア 日常的にスポーツ・レクリエーションを行っている市民の割合	%
イ 市及びくにたち文化・スポーツ振興財団が実施するスポーツ・レクリエーション事業の参加者数	人
2 ア 市民総合体育館の利用者数	人
イ 公園スポーツ施設の利用数	1面 1時間
ウ 学校開放施設の利用者数	人
3 ア	
イ	
4 ア	
イ	



2 第1次基本計画期間(平成28～35年度)内における取組内容

施策の展開方向	目的	手段(具体的な取組内容)
1 多様なスポーツ機会の提供	しょうがい・体力の有無や年齢にかかわらず、スポーツ・レクリエーションを楽しむ市民を増やし、健康増進や市民交流・コミュニティの形成等に結びつける。	地域におけるスポーツ機会の提供において中心的な役割を果たしているくにたち文化・スポーツ振興財団や体育協会の活動を支援します。 関係各課やくにたち文化・スポーツ振興財団、体育協会、市内の大学等と協力しながら、年齢・体力に応じたスポーツ・レクリエーションの機会を提供します。
2 スポーツ環境の充実	市民が利用しやすいスポーツ環境づくりを推進し、より市民がスポーツに親しむための機会を提供する。	市民総合体育館や公園スポーツ施設等の利便性を向上させます。 学校開放施設の設備・備品等の整備を行います。 スポーツ団体の紹介等を行うことで、市民が新しくスポーツを始めやすい環境を整えます。
3		
4		

3 総事業費・指標等の実績推移と目標値、実績状況把握

単位		数値区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	目標達成度		
対象指標	ア	人	見込み値										達成・未達成	前年度比較
		実績値	74,546	75,384	75,466									
	イ	人	見込み値											
		実績値												
ウ	人	見込み値												
	実績値													
エ	人	見込み値												
	実績値													
成果指標	展開方向1	ア	%	成り行き値									未達成	低下
			目標値	55.0	56.0	57.0	58.0	59.0	60.0	61.0	62.0			
		実績値	53.8	52.6	50.1									
		基本計画における指標の説明又は出典元		国立市市民意識調査										
	イ	人	成り行き値										達成	向上
		目標値	24,250	24,500	24,750	25,000	25,250	25,500	25,750	26,000				
	実績値	26,024	27,686	29,330										
	基本計画における指標の説明又は出典元		くにたち文化・スポーツ振興財団事業報告書より											
	ア	人	成り行き値										未達成	向上
		目標値	203,750	207,500	211,250	215,000	218,750	222,500	226,250	230,000				
	実績値	186,592	197,684	198,018										
	基本計画における指標の説明又は出典元		くにたち文化・スポーツ振興財団事業報告書より											
	展開方向2	イ	1面1時間	成り行き値									未達成	低下
			目標値	39,575	40,050	40,525	41,000	41,475	41,950	42,425	42,900			
	実績値	38,194	37,040	36,056										
	基本計画における指標の説明又は出典元		テニスコート・野球場・サッカー場の利用数の合計(くにたち文化スポーツ振興財団事業報告書より)											
	ウ	人	成り行き値										未達成	向上
			目標値	96,500	97,000	97,500	98,000	98,000	98,000	98,000	98,000			
	実績値	87,756	93,066	96,162										
	基本計画における指標の説明又は出典元		くにたち文化・スポーツ振興財団事業報告書より											
展開方向3	ア	人	成り行き値											
		目標値												
実績値														
基本計画における指標の説明又は出典元														
イ	人	成り行き値												
		目標値												
実績値														
基本計画における指標の説明又は出典元														
展開方向4	ア	人	成り行き値											
		目標値												
実績値														
基本計画における指標の説明又は出典元														
イ	人	成り行き値												
		目標値												
実績値														
基本計画における指標の説明又は出典元														
事務事業数		本数		4	5									
施策コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円										
		都道府県支出金	千円		16,160	29,400								
		地方債	千円											
		その他	千円		171	307								
	一般財源	千円		166,922	207,961									
	事業費計(A)	千円	0	183,253	237,668	0	0	0	0	0	0	0		
	人件費	延べ業務時間	時間		3,610	4,260								
人件費計(B)	千円		12,800	13,425										
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	196,053	251,093	0	0	0	0	0	0	0		

4 施策の成果実績値に対する評価

(1) 時系列比較(過去3ヶ年の比較) A(かなり向上)~E(かなり低下)

C:成果はほとんど変わらない(横ばい状態)

(2) 他自治体との成果実績値の比較 A(かなり高い)~E(かなり低い)

C:他自治体と比べてほぼ同水準である

背景として考えられること

体育館などの施設については施設改修に伴う、プールの休館、また、テニスコートについては1~2月に降雪の影響でコート等が使用できなかったことが要因としてあげられる。
また、学校開放については、第三中学校の夜間照明により利用者が増加した。

5 施策の現状 必要に応じて展開方向ごとに記載

(1) 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか？

・スポーツ・レクリエーションは、生きがいづくりや健康づくりに大切であるばかりでなく、地域間交流や世代間交流の推進、地域コミュニティの活性化、地域イメージの向上などの面からも大きな役割が期待されている。
 ・市では、子どもの体力の向上、成人・高齢者の健康の保持及び精神的ストレスの解消のため社会体育事業として、くにたち文化・スポーツ振興財団と連携しながらスポーツ・レクリエーションの振興に努めている。しかしながら、利用可能施設に比して、利用者が飽和状態であるのが現状である。
 ・平成32(2020)年のオリンピック・パラリンピックが東京で開催されることが決定したことにより、スポーツの注目度が高まっている。

(2) この施策に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

・スポーツ施設を利用したいが埋まっているため利用できないとの苦情がある。
 ・スポーツ施設を夜間遅くまで利用したいとの要望がある。
 ・施設予約システムの利用者登録手続きを軽減できないのかと要望がある。
 ・公園への健康遊具の設置など、より多くの市民が気軽にスポーツを楽しめる環境づくりを推進してほしいとの要望がある。

6 29年度の評価結果 必要に応じて展開方向ごとに記載

(1) 施策の取組状況

29年度の取組状況	30年度の取組予定
<p>・平成30年3月に多摩障害者スポーツセンターの改修工事に伴い、工事期間中の代替措置として、しょうがいしゃ利用については減免等の対応を行った。 ・しょうがいしゃスポーツを普及・促進するため、ポッチャ体験事業、障害者スポーツ観戦事業(車いすバスケットボール)を実施した。 ・小・中学校開放事業、小学校プール開放事業及び予約の利便性の向上のためスポーツ施設の予約システムの運用。 ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、イベント等を実施し、気運醸成を図った。 ・健康ウォーキングマップの全面改訂と市制施行50周年を記念して、全9コースのうち4コースを巡るウォーキングイベント(4回)を実施。</p>	<p>・各種スポーツ・レクリエーション事業を実施する。上記の加えて、東京2020大会に向けて、各競技体験事業を実施するほか、高齢者の健康増進事業として、ウォーキングや体操など事業拡充を予定している。 ・オリンピック・パラリンピック機運醸成事業及び大会ボランティアや聖火リレーに関して詳細事項が決定する予定であり、市としても関連団体等への連絡調整など対応する。 ・しょうがいしゃスポーツの普及及び促進 ・地域スポーツクラブ設立に向けた検討・準備等を行う。 ・市町村総合体育大会主管ブロックとしてバドミントン競技とソフトテニス競技を主管・開催する。 ・流域下水道処理広場のテニスコート用照明をLED化し、施設環境の改善及び利用環境サービスの向上を図る。 ・健康ウォーキングマップを使用したウォーキングイベントを1回実施する。 ・東京女子体育大学とスポーツこどもの日などの連携事業</p>

(2) 施策の全体総括(成果実績やコスト、見直しを要する事務事業等) 必要に応じて展開方向ごとに記載

総合基本計画及び29年度行政経営方針に照らして評価する

財団が行っている事業と重複している事業があるため、利用状況等を踏まえて、統合していく。健康増進や重症化予防に関して、財団と協力して運動プログラムを行っており、新たに運動を始める市民が増加している。

7 施策の課題・今後の方向性 必要に応じて展開方向ごとに記載

(1) 31年度の取組方針

・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け、機運醸成の取り組みをより一層の充実させる。
 ・身近に行える健康づくりとして、ウォーキングや各種体操の普及に取り組む。

(2) 中期的な取組方針

・いつでもどこでもだれでもいつまでも、スポーツ・レクリエーションに親しむことができるような環境を創出するため、地域スポーツクラブを設置する。地域スポーツクラブ、くにたち文化・スポーツ振興財団や体育協会等の各種団体との連携も図りながら、スポーツ・レクリエーションの推進を図る。
 ・施設の老朽化が進むなか公園施設・スポーツ施設の長寿命化(更新)計画を2020年度を目標に策定し、安全な使用環境を確保していく必要がある。
 ・高齢者の健康寿命延伸につながるよう、公園への健康遊具の設置等、より多くの市民が気軽にスポーツを楽しめる環境づくりを公園施設の更新計画と合わせて検討する必要がある。